

26年 4月 7日

新宿区長 へ

法人名 特定非営利活動法人
新宿区ウォーキング協会
所在地 新宿区西早稲田 1-23-14
けやきハウス早稲田 福本方
(フリガナ) コバヤシマサヒト
代表者氏名 会長 小林 昌仁 ⑩

協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第14条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 ¥85,000 円

1 助成対象事業

事業名	紅葉の新宿御苑とまちの晩秋スポット「楽しい出逢いウォーク」	
事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業	<input type="checkbox"/> 新規事業
申請する助成の種類	<input checked="" type="checkbox"/> NPO活動資金助成	<input type="checkbox"/> 新事業立上げ助成
過去に本助成を受けた実績	助成年度 () 事業名 () 助成年度 () 事業名 () 助成年度 () 事業名 ()	
この事業に対し他の助成の有無 (申請中のものを含む。)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	有の場合は助成団体及び助成額 団体名： 助成額： 円
事業実施地域及び会場	ウォーキング：新宿御苑～花園神社～箱根山～穴八幡宮～新宿 NPO協働推進センター 交流会Ⅰ：新宿 NPO 協働推進センター 交流会Ⅱ：シチズンプラザ(予定)	
スケジュール (実施期間等)	平成26年11月16日(日)予定 ウォーキング：09：30～12：45 交流会Ⅰ： 13：00～14：30 交流会Ⅱ：交流会参加者のうち希望者のみボーリングとおしゃべりタイム 15：00～(18：30)	
区民ニーズの把握状況 (それは、どのように把握したかを含む。)	「ウォーキングをしませんか」という呼びかけは、主として高齢者の皆さんを対象としてきた。よって平日の実施が多かったが、ファミリー向けに休日に開催すると、一昨年より徐々に若者の友達同志の参加が見られた。会としても若者の参加を促す企画をたて、昨年11月「楽しい出逢いウォーク」という名称の「婚活」をうかがわせるウォークを実施した。応募者26名、参加者20名であった。後日、一組のカップルが誕生したとの情報を得た。若者達の健康志向と、交流の場を求める声にこたえたい。	
事業の対象者	25歳～45歳位の明るく元気な独身男女	
活動内容 ※必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等を添付し、又は印刷物等の資料を提出していただいても結構です。	ウォーキング：集 合 新宿御苑新宿門 ゴール 新宿 NPO 協働推進センター コース 新宿御苑～花園神社～箱根山～穴八幡宮～新宿 NPO 協働推進センター 参加予定者 30名 交流会Ⅰ：会 場 新宿 NPO 協働推進センター 昼食会&ミーティング(現在の生活・仕事について、どの点で満足し、どんな点に不満なのか、話し合うことで、将来の夢に、より具体性を持たせる手法を用いる) ※モデレーター 板本洋子(NPO 法人全国地域結婚支援センター代表理事) 交流会Ⅱ：前回の参加者の行動を取り入れ、サポートする。 ボーリングとおしゃべりタイム。	

<p>地域の人たちの事業へのかかわり方</p> <p>(ボランティアとして参加する等、どのように地域の人がこの事業に参画することができるかを記入してください。)</p>	<p>主旨にご賛同いただけるのであれば、次の団体にお願ひし、広報面で参加者の呼びかけにご協力をいただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新宿区未来創造財団 2. 新宿区スポーツ推進委員協議会 3. 新宿区男女共同参画推進センター 4. 新宿区社会福祉協議会 5. 新宿 NPO ネットワーク 協議会
<p>実行体制</p> <p>(必要とされる人員とその確保のめど、必要な設備等)</p>	<p>主催団体 NPO法人新宿区ウォーキング協会 スタッフ10名</p> <p>後援団体 NPO法人全国地域結婚支援センター (P-COネット) スタッフ3名</p>
<p>期待される成果</p>	<p>区民や地域にもたらす具体的効果</p> <p>新宿区も高齢化と少子化の問題が大きくクローズアップされている。新宿に暮らす若者、特に中小企業に働く若者は、異性との交流の機会に恵まれることなく、時間に流されているのではないだろうか。</p> <p>ウォーキングを通じてそんな若者たちに明るく楽しい出会いの場を提供したいと考える。昨年は、初めての事業で、人の集まり、交流のあり方等心配したが、明るく会話が弾み、高田馬場へ帰る参加者たちが、誘い合わせてボーリングを楽しみ、お茶飲みに行っている。後日参加者より楽しい一日だった、また開いて欲しいとの声が寄せられている。</p> <p>職場だけの生活から一歩抜け出し、行動の幅を広げる若者たちの姿は、ボランティアの世界に新しい活力をもたらしてくれるだろう。</p>
	<p>申請事業を実施することによる貴団体の活動への効果</p> <p>この事業で、若者たちにウォークを通じて自分の健康の大切さと、歩くスピードで街の有様を感じてもらう。みんなと一緒に歩く交流の場で、パートナーを得て、入会してもらい、カップルで参加して、少しでも若々しい明るい会になることが協会の大きい夢である。</p>
<p>貴団体の経営基盤強化に向けた取り組みと今後の展望</p>	<p>会の月例会、レガス・区健康部他関係部局との協働事業、(社)日本ウォーキング協会よりの受託事業等で、会費の不足分を補ってきている。</p> <p>設立10周年を迎え、スタッフの増員を図り、さらなる健全運営のための資金を生む新規事業にも取り組み、シニア・若者の会員増強を計りたい。</p>

2 助成対象事業費内訳（積算根拠）

※協働推進基金助成金は、助成申請額を入れて積算して下さい。

※入場料又は会費を徴収して行うイベント、公演等は、必ず単価を入れてください。

(G)

収 入	経 費	積算根拠（内訳）		金 額
	団体負担金			26,920 円
	参加費・資料代等	参加費 @3,500.-×30名=105,000.- ウォーキング・交流会昼食代を含む。但し、交流会Ⅱシチズンプラザでの経費は含まず。会場の予約確保のみで、ボーリング場のプレー代は参加者が別途精算。		105,000 円
	その他の収入			円
	協働推進基金助成金	助成希望額	(127,920.-×2/3≒85,000.-)	85,000.-円
	計			216,920 円
支 出 （ 助 成 の 対 象 に な る 事 業 費 の 内 訳 ）	費 目	予算額	内 訳	
	会議費	1,700 円	新宿 NPO 協働推進センター 401A 会議室 300.-×3回=900.- 501 会議室 800.-×1回=800.-（午後）	
	宣伝費	40,000 円	A4 片面カラー 30.-/枚×1,000部 30,000.- 企画・デザイン料 10,000.-	
	リース費	円		
	消耗品費	5,000 円	事務用品一式	
	謝礼	32,000 円	NPO法人全国地域結婚支援センター 代表 板本洋子 3時間×8,000.-=24,000.- 同職員 4,000.-×2名=8,000.-	
	人件費	25,500 円	スタッフ（当日） 3,000.-×10名 30,000.- スタッフ（コースマップ作成）3,000.-×3名 9,000.- 上記 39,000 円のうち、25,500 円を助成対象事業費へ、 13,500 円を助成対象外事業費へ。	
	材料費	6,600 円	コースマップ印刷費 30.-×100枚（カラー） 3,000.- 交流会資料代 60部 3,600.-	
	交通費	9,800 円	コース下見 700.-×4名 2,800.- 本番誘導 700.-×10名 7,000.-	
	その他諸経費	7,320 円	郵便料 @82.-×60名 4,920.- 保険料 60.-×40名 2,400.-	
助成対象事業費（小計）		127,920 円		

助成対象外事業費	89,000 円	昼食費（参加者） @2,300.-×30名 スタッフ弁当代 @500.-×13名 人件費（助成対象外）	69,000.- 6,500.- 13,500.-
事業総額		216,920 円	

3 その他

助成金申請額を減額して助成金の交付決定をした場合、助成対象事業の遂行は可能ですか。

(はい ・ いいえ)

助成対象経費

下記項目以外の経費（飲食費等）は、対象といたしません。

項目	経費の種類
①会議費	打合せ、会議資料コピー代、会場使用料等
②宣伝費	チラシ、ポスター等作成費
③リース費	事業に直接必要な機器の賃借料
④消耗品費	事務用品の購入費
⑤謝礼	講師、協力団体等への謝礼（1時間当たり1万円を限度とし、1日当たり3万円を限度とする。）
⑥人件費	事業実施に直接関る事業主体の人件費として時間単価1,000円、1日あたり1人4,000円を上限として、かつ助成対象事業費の20%以内
⑦材料費	事業に直接必要な材料の購入費
⑧交通費	公共交通機関の交通費、講師との事前打合せのための交通費等（タクシー代は除く。）
⑨その他諸経費	損害保険料、郵送料等（チャリティ募金、寄附金等は除く。）